『(1)　昭和42年2月24日 国鉄東京駅荷扱所受託郵便物第490号
昭和40年3月8日 第三種郵便物認可（毎週一回金曜日発行）　　1969年2月14日　第164号

☆反帝闘争を
プロレタリア日本革命へ！
☆プロレタリア世界革命の旗の下
共産主義者同盟に結集せよ！
共産主義者同盟

2月14日
週刊
第164号
編集発行人　佐々木和雄
一部　20円
購読料　1部20回500円

戦旗

戦旗社
東京都千代田区三崎町2－7－5 飯沢ビル 内外出版社内 (261) 5961 振替(東京)3[illegible]
大阪支局大阪市港区磯路南通り1－16 [illegible]ビル (582) 6306 (458) 655[illegible]
京都支局京都市左京区下鴨宮崎町13－29 (075) (781) 0025
名古屋支局052 (732) 3553

2月12日/関学大支援全兵庫総決起闘争
（午後二時、関学大・神戸大）
16日/吹田操車場強制撤去阻止闘争
（主催、吹田・北大阪・高槻反戦）
21日/東大全共闘報告集会
（午後六時、日比谷公会堂）
28日/全兵庫地区反戦統一行動
（午後六時、尼崎）

沖縄学園の拡大戦列を地域－学園共闘に糾合せよ

2・11集会圧倒的に成功

日大全共闘など一万五千

2・11日大闘争支援集会（中大中庭）

「日大闘争勝利・全国反戦万歳」の雰囲気の中、二月十一日、日大全共闘の呼びかけによる集会が、日大全共闘の結集の中、午後三時ちょうどから、中大中庭に集まった。次々と、日大全共闘は、中大、法政、明大、早大、慶大、学習院大、東大、教育大、全都の各学園の全共闘、高校生、高校全共闘、高校生の会、高校生の会、高校生の会

69春闘の位置と我々の任務

その2

地区反戦—地域共闘の常態的結合で七〇年への主体的転換を

共産主義者同盟労対部

▼……春闘と反帝統一戦……▲

今春闘の総括的位置は明確に七〇年度の第二の全国的決戦に接続し、第二ぼるの先陣を切って米軍基地撤去闘争をはっきり提起した。

問題は、第二ぼるの先陣を切るとする所以、そして全国闘争の一環として、沖縄闘争を含めて、第二ぼるの闘争が、なぜ、どこを突破口として、どこを目指すのか、ということである。

防衛庁は、そして全国闘争は、「戦争の準備」であるとはいうまでもない。

問題は、4・28、佐藤のような決定的な、「戦争の準備」であるとする所以、そして全国闘争が、なぜ、どこを目指すのか、ということである。

佐藤の、沖縄返還、「戦争の準備」のような決定的な、「戦争の準備」であるとする所以、そして全国闘争が、なぜ、どこを目指すのか、ということである。

問題は、4・28、佐藤